

東京芸術大学 取手市長賞紹介

☎ 文化芸術課 ☎ 内線 1292



撮影場所：東京芸術大学上野校地

市長賞は、毎年美術分野の個性豊かな作品や音楽分野の優秀な成績を修めた学生の中から、東京芸術大学の推薦を参考に選定しています。美術分野の受賞作品は、4月28日（水）までとりでアートギャラリー（アトレ取手4階）に展示されます。また、音楽分野の受賞者はふれあいコンサートに出演予定です。過去の市長賞や市が所蔵する作品は、市ホームページでご覧になれます。



過去の美術分野



過去の音楽分野



取手アートマップ



オンライン美術館

美術分野選定会

東京都立美術館と東京芸術大学美術館で市長賞の選定会が行われました。東京芸術大学卒業・修了作品展に展示されている作品から2点を選定しました。

会場では、制作者が市長や澤学長（写真右）に作品の説明を行いました。



美術分野



油絵：【後奏】 常行哲弘さん

高さ 227.3cm × 幅 181.8cm

綿布、アクリル、油彩

この作品の制作で、大学生活で初めてしっかりとした制作ができたと感じています。モデルは知り合いに頼みました。

作品のテーマは、すでになくなってしまった人とのつながりや祈りです。制作のきっかけは、祖母との別れでした。両親が共働きで祖母と過ごす時間が多かったので、祖母との別れは自分の中でとても大きかったです。

別れは、人があまり見つめたくない部分だと思います。自分もあまり考えないようにしていました。しかし、別れが悲しいだけのものであってほしくないと考え、あえて鮮やかな色使いで制作しました。

「分かる人にだけ分かればいい」という姿勢ではなく、アートに詳しくない方や、あまり関心がない方にも何かが伝わるよう努めて制作していきたいと思っています。

東京芸術大学講評

作者は、絵画技法の習熟と共に、対象とする人物画の絵画的意味と自身の制作根拠を学部4年間を通して根底から問い続けてきました。卒業制作は具体的な絵画技法におけるスキルの研さんと深い反省によって得た大きな成果です。